

新グローバル美容レポート:まぶたの整形が最も人気の施術に、世界的に顔面整形手術への関心が高まる

2024年の美容医療施術件数、3,800万件に迫る

マウントロイヤル(ニュージャージー州)、2025年6月20日 /PRNewswire/ -- 国際美容外科学会(ISAPS)は、シンガポールで開催されたISAPS Olympiad World Congressにおいて、年次グローバル調査の結果を発表しました。これによると、形成外科医によって実施された美容手術は1,740万件以上、非外科的施術は2,050万件に上ります。過去4年間で、全体の施術件数は42.5%増加しました。

美容外科手術

2024年には、まぶたの整形手術が初めて最も多く行われた外科的施術となり、従来の脂肪吸引を上回って210万件に達しました。次いで、脂肪吸引、豊胸手術、瘢痕修正術、鼻整形が続きました。最も人気のある非外科的施術は、ボツリヌス毒素注射、ヒアルロン酸(フィラー)注入、脱毛、非外科的な皮膚の引き締め、ケミカルピーリングでした。

顔および頭部の施術の多くは前年から増加し、施術件数は740万件を超え、4.3%の増加となりました。主要な施術は、まぶたの整形手術が210万件超で13.4%増、鼻整形が100万件で10%減、顔への脂肪注入が90万件で19.2%増となりました。胸部の施術は390万件(14.1%減)、体幹および四肢の施術は600万件(14.8%減)でした。

女性においては、脂肪吸引が依然として最も一般的な外科的施術であり、次いでまぶたの整形手術と豊胸手術が続きました。男性では、まぶたの整形手術が再び最も人気のある外科的施術となり、次いで女性化乳房の手術および瘢痕修正術が行われました。

豊胸手術の大半(全体の54%)、鼻整形(60.1%)、および外陰部の整形手術(48.4%)は18~34歳の年齢層が行っており、ボツリヌス毒素注射は35~50歳の層(全体の47.0%)で最も人気があります。脂肪吸引および非外科的な脂肪減少施術は、両年齢層に比較的均等に分布していました。

ボツリヌス毒素注射は、男女問わずすべての年齢層において最も一般的な非外科的施術であり、世界中の形成外科医によって780万件が実施されました。第2位となったヒアルロン酸注入は5.2%増加し、780万件に達しました。

ISAPSグローバル調査委員会の委員長であり、ノルウェーの形成外科医であるAmin Kalaaji医師は、世界的な結果について次のようにコメントしました。「今回の報告書には、『マミーメイクオーバー』やその他の複合施術、瘢痕修正術、脂肪注入による手の若返り、バックルファット除去、陥没乳頭の矯正、えくぼ形成、その他の外陰部整形手術に関するデータも含まれています。」

今回も米国が最大の施術件数を記録し、610万件超に達しました。次いで、外科的施術件数で首位となったブラジルが310万件、日本がそれに続きました。

報道関係者の方は、media@isaps.org までお問い合わせください。

写真 - https://mma.prnewswire.com/media/2714501/ISAPS_Global_Survey_2024.jpg

ロゴ - https://mma.prnewswire.com/media/1038963/ISAPS_Logo.jpg